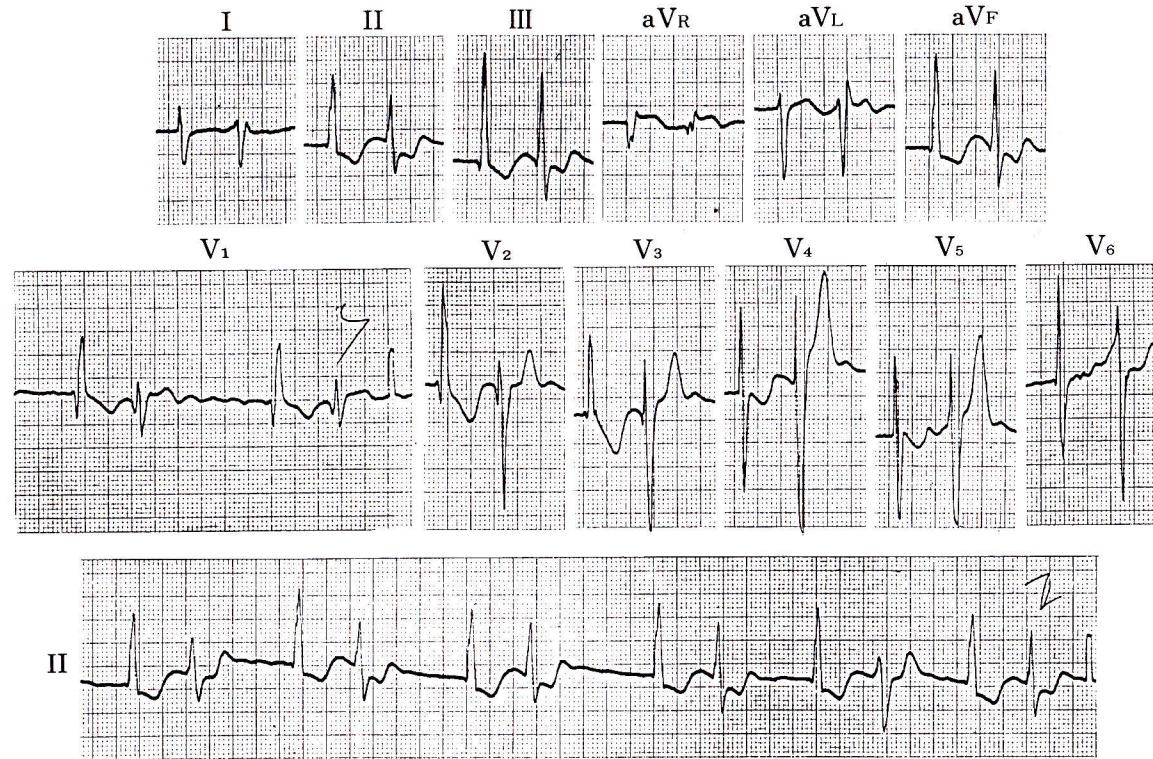


症例 66

●56歳 女

●僧帽弁狭窄兼閉鎖不全、大動脈弁閉鎖不全、三尖弁閉鎖不全でジギタリス剤、利尿剤の投与を受けている患者、経過観察のため記録。



- 1) 基礎調律は何か。
- 2) 下段の連続記録では 3 種類のQRS波がみられるが何か。

心房細動、心室性期外収縮、完全右脚ブロック、時計軸方向回転

Q R S 波と 1 対 1 に対応する P 波はなく、 V₁ でみると細かく不規則に基線が揺れている (f 波)。心房細動である。各誘導の 1 拍目が正常に伝導された心拍であるが、 V₁ で rsR' パタンを示し、 Q R S 幅も広く完全右脚ブロックである。 V₂ の R' 波は 21mm と高く、 V₆ の R/S 比は 1 に近い。移行帶は V₆ 付近に存在する。この所見は高度の右心系の肥大・拡大とともに、それに伴う心臓の時計軸方向回転を示唆する。

各誘導の 2 拍目は、心室性期外収縮であり、下段の II 誘導に示されているように 2 段脈を呈している。また下段の 10 拍目は他の期外収縮と波形が異なり、期外収縮が多源性であることを示している。これらの所見は心室の興奮性の高まりを示唆しており、ジギタリス使用中の場合には、まずジギタリス中毒の可能性を考慮しなければならない。